

このメールは当協会会員に登録されている方、当協会職員と名刺交換いただいた方、当協会主催の事業にご参加された方に配信しております。
今後配信を希望されない方は、お手数ですが[メール配信の停止]より配信停止の手続きをお願い申し上げます。

<目次>

▼最近の動向から▼

第 134 回 「福島原発対応と災害対応」

▼講座・セミナー・研究会▼

【01】～グローバル事業展開の要、「ロジスティクス」と「人材マネジメント」～
「グローバルロジスティクスの潮流と中国人材マネジメントの実際」

【02】～顧客満足向上をボーダレス・ロジスティクス（SCM&物流）の視点から創造する～
「ロジスティクスシステム研究会」2011 年度研究会参加ご登録のご案内
《2010 年度参加メンバー、2011 年度新規申込の状況》

<<配信停止、変更の手続きは末尾をご参照ください>>

▼最近の動向から▼

★

■最近の動向から（第 133 回）■
>>福島原発対応と災害対応<<

★

ここでは、JILS 総合研究所の調査研究、標準化活動や各種委員会動向等から、最近のホットな話題を適宜ピックアップして配信致します。

原発や放射性物質に関する日本政府や国内報道では、基礎的情報や実務的対応方法について、わかりにくいことが多いと思います。

こういう場合は、過去の実例をもとに検討する方法がわかりやすいと思います。「チェルノブイリ原子力発電所事故」や「スリーマイル島原子力発電所事故」の影響範囲やその後の状況について日本語版ウキペディアでも参照することができます。できれば英語版ウキペディアもあわせて参照することをお勧めします。

また、具体的な放射性物資対策については、下記の米国のサイトに資料が揃っています。

・放射性物質の影響などに関する説明（米国の環境保護庁（EPA））

<http://www.epa.gov/radiation/understand/perspective.html>

・放射線対策（米国の環境保護庁（EPA））

<http://www.epa.gov/radiation/programs.html>

・原発事故対応の事故発生前、発生中及び事後の心がけ
（米国緊急事態管理庁（FEMA））

http://www.fema.gov/hazard/nuclear/nu_before.shtm

・放射性物質に関連する災害時への準備と対応

<http://www.bt.cdc.gov/radiation/>

一般的に物流分野の災害対応事例を整理した日本語資料としては、下記の文献があります。

・内閣府防災情報のページ「阪神・淡路大震災復興誌」

http://www.bousai.go.jp/4fukkyu_fukkou/hanshin_awaji.html

・国土技術政策総合研究所資料「事業継続支援のための国際物流インフラマネジメントに関する基礎的検討」2007年7月

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn0409.htm>

英語文献では、米国のロジスティクス学会（CSCMP）の「Securing the Supply Chain」（2002年、有償）があります。そのなかには米国のFEMAと赤十字のマニュアルをもとにした企業向け対応方策と過去の各種災害事例の規模、影響範囲、復旧期間等が掲載されています。

https://cscmp.org/wp/Products/ShowItem.asp?prd_ID=375

【問合せ先】JILS 総研 吉本 yoshimoto@logistics.or.jp

▼講座・セミナー・研究会▼

★

～顧客満足向上をボーダレス・ロジスティクス（SCM&物流）の視点から創造する～

■「ロジスティクスシステム研究会」 ■2011年度研究会参加ご登録のご案内

★

【コンセプト】

業種・業態、立場・役職を超えて、顧客満足を高める「SCM&物流」の悩み、問題・課題を一人称（私）で語ることにより、自らの知識・技術を磨き、顧客・自社に貢献する人材を育成する。

※毎月開催する会合を通じて、人的交流の深耕、人脈形成を支援する。

【研究会活動】

日本を含め、グローバルな視点でSCM&物流に関わる様々な切り口（テーマ）から、製造業、流通業、物流子会社、3PL・物流業、サービス業等の研究会メンバーが自身の取組（事例）をベースに、問題・課題を提示し、メンバー同士が「三現主義」に基づくディスカッションを通して、解決のヒントを見出す機会を提供する。

【会 期】2011年5月～2012年3月／10会合（年間）

※各会合開催時間 14：00～17：00

【会 場】JILS 会議室（東京都港区芝2-28-8）／予定

【定 員】30名

【参加料】73,500円 JILS 会員（税込）

*会員外の方は、事務局担当までお問合せください。

【2010年度メンバー】

江坂運輸(株)、(株)エスプール、FFGS ビジネスサポート(株)、コマツ物流(株)
(株)佐藤梱包、三洋電機ロジスティクス(株)、シスメックス(株)、昭和リース(株)
ソフトバンク・フレームワークス(株)、日立物流ファインネクスト(株)、
DHL サプライチェーン(株)／2名、ティ・エス・ケイ(株)、ドコモ・モバイル(株)
日清アソシエイツ(株)、日本通運(株)、(株)日本ロジスティクス研究所
日野自動車(株)

【2011年度新規申込の状況（経過報告）】

味の素(株)、旭硝子(株)、(株)オカムラ物流、帝人(株)、
パナソニックロジスティクス(株)／(2名)

【問合せ先】顧客サービス部 遠藤 endo@logistics.or.jp

※プログラムの詳細とお申込は下記URLをご参照ください。

http://www.logistics.or.jp/member/toroku/pdf/logiken_11.pdf

★-----
～グローバル事業展開の要、「ロジスティクス」と「人材マネジメント」～
■「グローバルロジスティクスの潮流と中国人材マネジメントの実際」■

★
今回の研究会では、急速に進むグローバル化の中で、事業の持続性と
マーケットニーズに合致した製品を適切な品質・コストで生産、供給する要である、
「ロジスティクス」の潮流と「生産」から「市場」として拡大している「中国の人
材マネジメント」の実際について、情報提供いたします。

「中国の人材マネジメント」につきましては、「中国で最も尊敬される企業」の
トップ3に輝いた「広汽本田」と、中国人スタッフを经营理念に沿って磨き上げ、
逆境を乗り越え成長し続ける「カネボウ化粧品中国」の人材マネジメントシステム
改革の事例をもとに、町田様にご講演いただく予定です。

【会 期】2011年4月22日（金）14：00～17：00
※3/11（金）地震の影響にて中断・延期後開催の再募集です。

【会 場】日本ロジスティクスシステム協会 会議室（東京都港区）

【定 員】30名

【参加料】15,750円 JILS 会員 / 21,000円 JILS 会員外（税込）

【問合せ先】顧客サービス部 遠藤 endo@logistics.or.jp

※プログラムの詳細とお申込は下記URLをご参照ください。

http://www.logistics.or.jp/member/open/pdf/10open_69_global.pdf

■-----
発行：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
〒105-0014 東京都港区芝 2-28-8 芝 2 丁目ビル 3F
TEL 03-5484-4021 FAX03-5484-4031
<http://www.logistics.or.jp/>